

平成 29 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

障害福祉サービス多機能型事業所

奥戸福祉館

## I 運営全般

### 1 運営総括

今年度は新卒利用者が2名入館し、5月に1名クラフトへ異動、1名が退所し認知症の老人のケアホームへ移った。7月に1名8月に1名入館し生活介護事業所が31名就労継続B型事業所が30名の合計61名で活動を行った。

新人利用者を中心に利用者の適性を見るため事業所間の実習を積極的に行った。

利用者の平均工賃3万円にする3か年計画の2年目の年だった。FVPのコンサルトのアドバイスをうけ毎月1回職員会議で工賃向上に向けての話し合いをもった。

PDCAサイクルを回したかったが目標金額の確認にとどまり目標に届かない際の挽回行動へ移すことは難しかった。だが、売り上げ等数字への意識は少しずつだが出来てきている。

作業面では生活介護事業所での軽作業を廃止し、老人ホームでの施設外就労、洗車隊、OEMクッキー生産の3つの新規事業を開始した。クッキー、洗車隊は軌道にのらず、売り上げをのばすことはできなかったが新しいことにチャレンジして試行錯誤しながらがんばった。

清掃作業ではタスカルカードを導入し作業の見える化と利用者のやる気につなげることが出来、売り上げ目標も達成することができた。しかし館内清掃は不十分でありまた清掃の資格コンクールは企画できなかった。

軽作業を廃止したため障害が重い利用者への作業提供ができず課題が残った。12月に行った防災倉庫での廃棄作業は、利用者が生き生きと作業に携わっており、福祉館外活動への今後の作業提供へのヒントになった。

就労B型事業所ではパンは予定していた大きな販売会が中止、又売り上げが見込める販売会が雨の為集客が見込めず売り上げを伸ばすことが出来なかった。しかし学校の創立記念の引き出物として紅白メロンパンを取り扱ってもらい記念品的なパンという新たな販売方法を確立することができた。

補助金助成を受け1月末に新しいオーブンとドウコンを導入した。来年度は効率よく大量にパンやクッキーが焼け生産性がある。この財産を有効に使えるようにしていきたい。

夏休みに子供向け「パン教室」、ガイドヘルパー利用の休日の外出、グループ外出、シルバー外出、地域清掃、パン販売活動、リサイクル活動、チラシ配り等地域社会へ積極的に参加した。また利用者へのやる気意識向上のためにパンの製造、販売接客のコンクールを行った。

職員は、職場環境による体調不良による異動や退職が3名あった。またパート職員雇用の為の実習で人の出入りが多く秋口は環境的にも気持ち的にも落ち着かなかったが10月よりパン職人2名体制にし現場の余裕がうまれた。職員教育については新人職員にはOJT、外部の研修に参加した。フォレストの所長との勉強会を上半期に定期的に行った。また育成計画作成、中間見直し、必要に応じて職員面談を行った。

## II 利用者支援

### I 事業活動

【就労継続B型事業所】月平均工賃 28,585 円（昨年度 27,880 円）

＜パン製造販売＞

製造の安定を図るため、技術の向上を利用者、職員それぞれで意識を高く持ち日々の作業に取り組んだ。機材の老朽化と製造量の増加に伴い、冷凍冷蔵庫やオーブンの購入、ドゥコンディショナーを新規導入した。

新商品や既存の商品については、季節感や販売の売れ行き等を鑑みて月ごとに話し合いを行い決定してきた。また新たにパン職人が加わり、現行のパン作業の効率化や新商品の開発力の向上が図れた。日々の販売や、イベントなどには販売前に分析を行い、売り上げ増、ロス無くすよう準備を入念にして、販売計画に繋がる製造を意識するよう努めた。

食品衛生については、法人内で食品を取り扱っている部署に協力を仰ぎ、清掃の実習を行ったり、HACCP の考え方を参考に清掃マニュアルを作成するなどして、工房内の清掃強化を行った。しかし、保育園への異物混入が数件あったため、より一層の衛生意識の強化と危害管理が必要となる。パンの改良、新作パンの開発を兼ねて、月に一度、福祉館のパンを昼食として提供した。地域交流の一環として、夏休み中、近隣の児童を招き、パン教室を行った。教室は盛況で、利用者も、先生として参加し、照れながらも上手に教えることができていた。8月にパンコンクールを行い、利用者の意欲向上に努めた。

みんなの集まり後に、衛生の話を行い、食中毒、販売の仕方等に対する意識をつけてもらった。

販売活動では、今年度より定期的な販売先が4件増え、保育園2園の納品を開始した。また、保育園に異物が混入したパンを納品してしまったが、迅速に誠意をもって対応したこともありパンの注文は奥戸福祉館が独占することとなった。また、交流のある保育園を紹介して頂けた。11月より火・木曜日に区役所ホールで販売をすることができるようになった。南葛SCの試合イベントや、奥戸総合スポーツセンター、水元総合スポーツセンターで定期的に販売を行った。また、水元スポーツセンターでの販売会で一之台中学校の校長先生より1件販売会に招待された。毎月大口注文をいただいていた企業1社が企業都合により、注文を中止することになった。また、SBBの注文は前年度と比較し、月5万円のマイナスになった。SBBの注文方法を見直し、メニューを改良するなど、利用者の要望に沿った形で商品が提供できるように取り組んでいる。昨年度まで参加していた販売会も3ヶ所、都合により参加できなかった。天候の影響で多くの販売会での売り上げが伸び悩んだ。既存の納品先からの紹介で新たに活動の場を広げることができた。

新人利用者1名を直接パン販売に従事してもらうよう取り組んでいる。2階利用者の作業の拡大のため、1階で作業を行ってもらい、適性をみた。

パン活動のお知らせを年4回発行し、保育園等、納品先に配布を始めた。

地域交流の場を広げる為に奥戸町会会員となった。

職員からの紹介で、学校行事で使用する祝いの品として紅白メロンパンを納品した。評判がよく、他校、他施設からも問い合わせがあった。

JAから、イベントで使用するパンの注文を頂いていた。しかし、バーコードプリンターの操作ミスにより表示の誤ったシールを貼り、納品してしまった。早急に対応したがJAに多大な迷惑をかけてしまった。現在はバーコードプリンターの使用方法に制限をもうけ、人為的ミスを減らせるようにしている。

売上実績 21,259,171円 (売り上げ目標 2,450万・昨年度 22,583,430円)

SBB	5,337,000円	(5,821,500)
ふらすちよいす	2,114,269円	(2,241,631)
保育園給食	4,173,106円	(3,588,477)
ぱぱす販売	351,780円	(506,987)
南葛SC	72,530円	(392,930)
東急ストア	258,120円	(497,570)
ビバホーム	172,860円	(235,780)
イトーヨーカドー	350,020円	(164,363)
販売会等	2,575,765円	(4,193,395)
やまもも謝礼	117,320円	(179,300)
協力販売	918,445円	(239,420)
定期食パン	515,290円	(727,635)
おくどやもちちゃん	764,265円	(1,164,568)
その他	2,503,696円	(1,559,438)

#### <クッキー>

新しく始まったクッキー作業では、利用者の適性をふまえて作業担当を決めた。何度も作業を繰り返すことで利用者が携われるようになり、一部の作業では利用者が確認者として責任を持って働ける環境を作った。

材料を入れる保管庫の設置、冷凍庫の購入、金属探知機の導入など受託先の要望に応え、製造ラインを整えた。

5月より毎週5ケースの出荷をした。急な追加注文にも対応し、8~10ケースを出荷することもあった。しかし、7月、金属探知機で非金属が検出され出荷停止となった。ミキサーの破片が原因と推測され、新しいミキサーを導入し、8月に製造許可が得られ、製造再開をした。また、しばん虫が発生していることの指摘を受け、消毒の強化を行なった。

異物混入による製造中止と受託先の販売数が減少したため注文数の増加が見込めず、自主

生產品作りを開始した。パン販売先で同時販売や保護者の方々にも協力購入してもらったが目標の売り上げ（1,000万円）は達成できなかった。

売り上げ実績 2,288,776円（売り上げ目標1000万）

ビオクラ食用 1,294,879円

自主生産 899,347円

月に1回の衛生・販売マナー等のテーマに沿った職員・利用者で考えた講座を取り入れ、また外部講師を招き、健康・身だしなみ・衛生・接客マナーの講座を企画し作業や生活に役立つことを学び意欲向上を図った。

毎日、手洗い・白衣・体調チェックを行い、休憩時間にラジオ体操を実施、各グループで月1回話し合いを持ち今月の反省、来月の目標を立てた。

就業関係では、1名が短時間労働勤務している会社に現在も安定して仕事を行えている。

実習希望のある利用者がパン製造販売にて実習を行った。

#### 地域生活支援

①自立生活訓練：立石寮を利用し地域生活体験やGHへの見学を実施。福祉館の利用者が住んでいる場所をみることで地域生活のイメージがつきやすく、今後の生活について選択肢を増やす事ができた。

レスパイト：1名 寮見学：3名

②社会体験：ヴィゼポレール（原町成年寮 法人内授産施設）へ見学

3月15日、16日、19日（3日間）

作業の様子や商品の説明を聞き、接客態度や衛生面、パンのアイデアなどの刺激を受け、働く意欲につなげる事ができた。

③外部講習：接客講座：ヨーカドー（9月26日）

歯周病講座（2月26日）

④パンコンクール：8月9日（販売）

：8月22日（製造）

【生活介護事業所】月平均工賃15,529円（昨年度16,234円）

今年度は新入館者1名、7月8月に1名ずつ入館の計3名と7月に退館者1名の計31名で行っている。

「働くことに誇りを持つ」ために利用者の意欲を高め、評価していくことに努めた。その取り組みとしてタスカルカードの導入を行い作業提供の視覚化で分かりやすくし、作業時間の最後を評価の時間としたことで利用者の意欲向上、自信を得ることに繋げた。また作業が難しい人については奥戸福祉館内だけでなく他事業所とも会議を行いどのようにして安定し

た日中活動の場を提供できるか模索した。安定のためにも活動の場所の課題が残った。

利用者関係では作業が安定しない人達の対応に追われた。利用者に合わせて活動場所の住み分けが必要であり従たる事業所の必要性を感じた。また、利用者同士のトラブルも多く、特定の利用者がらみが大半だった。

作業は清掃班、ウエス・リサイクル班に別れている。清掃班は寮清掃が2か所増えて毎日寮清掃ができるようになった。5月末より施設外就労としてスマイルホームでの清掃も始まり、週3日の清掃を休日も出勤し働く意識の向上に努めた。そして更なる売上向上のため9月より株式会社フュージョンと契約しまごころ洗車隊葛飾ステーションとして洗車事業を始めた。チラシ作成や営業をしたが思うような成果は出ていない。館内清掃については作業の流れに組み込んでいるが日によってやらないことがあり不十分な所もあった。洗濯事業は新たに洗濯機を1台購入しているが、清掃班が外に出ることが多く、館内清掃に集中してもらうため12月よりウエス・リサイクル班が行うこととした。ウエス・リサイクル班ではウエスの新たな納品先と仕入れ先の開拓を行った。納品先は新規が4件増えたが安定して注文が得られていない。仕入れ先は回収ボックスを2か所設置してもらうこととなりタオル類、シーツ類は仕入れが減ったが、メリヤス類は購入が主のままであった。チラシ配りはぱどが2月より配布場所が変更になり部数が減った。また(株)ポストウェイによる配布も始めた。アルミ缶はチラシの効果もあって回収量は増えている。お茶販売は定期的に購入してくれるところもあり売り上げは増えている。またパングループともチラシ配りや販売会の参加、パンの配達など協力した。

作業外活動としてPT指導による機能訓練やウォーキングを兼ねた地域清掃をした。余暇としてお花見散歩や園芸でとうもろこしを植えたり、プランターの設置をおこなったりした。また、高齢化を対象とした外出を行い作業とのメリハリを図った。

売上実績 5,214,726 円 (売り上げ目標 500 万・昨年度 4,413,642 円)

① 清掃洗濯班 (目標 300 万)	3,665,829 円 (3,445,621)
・館内清掃・洗濯	1,440,000 円
・生活寮清掃 (お墓清掃含む)	1,405,669 円
・施設外就労 (老人ホーム清掃)	758,100 円
・洗車隊	62,060 円
② ウエス・リサイクル班 (目標 185 万)	1,548,897 円 (968,021)
・ウエス	552,237 円
・アルミ缶	266,173 円
・お茶	265,570 円
・ぱど	57,033 円
・かわら版	300,000 円

・その他

107,884円

## ○作業外活動

### ①体力づくり

毎日（早帰り以外）15:40 からラジオ体操実施。送迎利用者も行える時間に実施し、皆で行う事で一体感ができ、楽しく行うことができた。

- ・PTによる訓練の見直しを行った。
- ・地域清掃・チラシ配りを行った。

### ②教養講座

毎月話し合いを実施し全体の目標の他、個人の目標を立て、働く事への意欲向上を図った。

### ③余暇

- ・お花見外出
- ・1階花壇にとうもろこし・コスモスを植えた。とうもろこしは受粉が上手くいかず、細い実のとうもろこしができた。コスモスは、花が咲いたが幹の細いものができた。
- ・高齢者を対象としたシルバー外出2回実施。

### ④地域生活支援

見守りを行う介護人不足によることと、訓練と希望する生活の環境の相違により今年度半ばで短期訓練は中止となる。1名短期訓練実施。バスでの通所訓練も同時に行った。道は覚えているものの、バスの中での態度や、道すがら色々なものが気になり、危険と思われることが多々あった。

## 2 余暇支援（グループ外出）

利用者に行きたい場所を選択してもらい、外出をした。10人前後のグループで、職員は利用者とともに企画をし、そのサポートを行った。それぞれの外出で利用者は楽しく過ごすことが出来た。

## 3 就労援助

R.Hさん：マクドナルド新小岩北口店での短時間就労を長年継続していた。2月15日に職場訪問を行なった際に店長より店の売りあげ不振と本人の低身長を理由に4月19日付で退職することになった。

S.Yさん：のぞみ発達クリニックに2016年3月より清掃業務にて一般就労している。スタッフの理解もあり定着している。3月27日に職場訪問を行った。

H.Wさん：平成29年度からメッセージ作業を実施。初めにAMのみを試み、7月より、

PMの作業も開始。3月29日に職場訪問を行なった。

作業や道順は問題ないが道にゴミがおいてあると触りたくなる様子がある為職場と連携し定期的に様子を見ていく必要がある。(3月6日工場においてあったポリタンクをゴミだと思いうろろしていて警察に通報されてしまった。)

#### 葛飾区就労支援事業（葛飾区補助事業）

葛飾区障害者就労支援センターと連携し、実習や中間的就労を通じて福祉館利用者の働く意欲の底上げや自信を高め、外部での社会的経験が出来るよう努めた。

具体的には区役所、喫茶ミモザ、カフェチャチャチャ、自転車リサイクル工房における中間的就労、就労支援センターでの実習などがあげられる。

#### 【中間的就労】

実習場所	実習期間
① カフェ CHACHACHA	6月19日～6月29日
② カフェ CHACHACHA	9月11日～9月14日
③ カフェ CHACHACHA	12月11日～12月21日
④ 区役所実習	8月23日
⑤ 区役所実習	10月4日
⑥ 区役所実習	2月20日
⑦ ミモザ実習	5月22日～5月26日
⑧ ミモザ実習	9月25日～9月29日
⑨ ミモザ実習	10月2日～10月6日

#### 4 保健

怪我、ウイルス感染の多い一年であった。

- ①利用者同士の喧嘩により病院搬送2名（うち救急搬送1名）。
- ②骨折6名。
- ③インフルエンザB型罹患 利用者12名、職員6名。

##### (1) 健康管理

- ①毎月の体重測定を行い、体重表を配布した。  
同時に血圧測定も行い、健康状態の目安にしている。
- ②定期健康診断（7月31日）  
男性 35名 女性 18名 計 53名



区、かかりつけ医での健診 8名

結果については家庭に連絡し、再検査及び現在も経過観察中です。

(2) 歯科健診 (6月6日・1月30日) 歯磨き指導 (7月3日・2月20日)

結果を家庭に連絡。

7月3日の歯磨き指導までは、全体的に上手く磨けていると医師より評価を受けていたが、1月30日の歯科検診では、食物残渣のある利用者の数が2、3倍に増えてしまったので、指導が必要と指摘を受けた。

(3) 機能訓練

①機能訓練の必要な利用者9名を対象に、11月29日今年度より依頼した関口PTによる訓練見直しを行った。

内6名は今後も機能訓練を継続していく。

(4) インフルエンザ予防接種

嘱託医によるインフルエンザ予防接種を11月4日に希望した38名に行った。

嘱託医との連携

毎月1回内科相談では、健康診断の結果及び血圧の変動のある方、糖尿病の方など、体調の悪い人の話を聞いていただき、治療の必要な症状の発見にも繋がった。

衛生管理

細菌検査(検便)は、パン製造、販売従事者(利用者・職員)月1回

クッキー従事者(利用者・職員)隔月1回行っている。

その他利用者・職員は年1回行っている。

職員の健康管理

1月～2月で年1回健診センターにて実施した。

5 全館行事

宿泊旅行は7月に白樺高原へ行った。キャンプファイアーと花火カラオケで楽しんだ。

還暦を祝う会を5月と1月に行った。

やまもも祭は、10月22日に行った。東京理科大のイベントに参加したく時期をずらしたがそのイベントが中止になってしまった。町会の祭り重なったため来年度の開催日時は検討する。祭自体は雨天にもかかわらず来館者も多数で盛況であった。しかし雨天で中高年の方が少なかった為か売り上げは例年より大きく下回った。

忘年会は浦安ブライトンホテルで行った。12月28日に行ったが年末のため来年度の開催日時は検討が必要。カラオケを行い食事を楽しみながら1年をふりかえった。

毎月月初めにみんなの集まりを行った。毎月、皆勤賞、月間努力賞の表彰をし利用者のモ

チバージョンアップにつなげるようにした。

## 6 地域交流

### 【地域交流】

今年度は、小学校の指導要領の変更や新たな科目の導入、授業数の増加により交流会をする時間が設けられなかったが12月7日、12月8日に南奥戸小学校の展覧会を観に行った。利用者は、自分たちでも何か真似して作れないか探している姿が見られた。

また、昨年度見学に来た小学生達が定期的にアルミ缶を持ってきてくれている。

8月5日には、パン体験を実施した。計14名の参加があった。

### 【ボランティアの受け入れ】

外部の方との相互理解を深めるためにボランティアの募集を行った。しかし今年度は募集に対しての応募はなかった。やまもも祭では76名の方がボランティアとして参加した。利用者が他者との交流を通して社会性を身につける場となった。当日は雨天であったがボランティアの方の協力で、無事に終わることができた。

## 7 利用者自治会

昨年度と同様の役員で活動した。5月に会計役員がクラフトへ異動したため臨時選挙を開き、新たに1名を選出した。

役員それぞれが積極的に発言し、互いに協力し合って企画・運営ができた。職員はイベント運営時に各自の意見を反映できるよう援助した。

### 主な活動

4月26日・7月21日 利用者送別会（会場設営・司会・プレゼント用意）

5月1日 還暦を祝う会（会場設営・司会・プレゼント用意）

6月1日 利用者自治会臨時選挙

7月20～21日 宿泊旅行（宴会司会・カラオケ）

10月22日 やまもも祭（模擬店出店）

1月11日 職員送別会（会場設営・司会・プレゼント用意）

2月2日 還暦を祝う会（ ）

## 8 家庭との連携

連絡帳を活用して家族や寮との連携を図った。必要に応じて電話連絡や面談グループホームの利用者は合同処遇会議を行ったりグループホームの会議に参加した。

新しい職員が増えたため個別支援計画書の面談を在宅の方を中心に行った。

また、クッキーの購入、洗車隊の協力を依頼した。

定例家族連絡会 4/12 18人 6/14 15人

## 9 リスクマネジメント

・パン関係7件、骨折6件。けが3件、服薬関係4件、利用者行方不明2件、閉館横扉かけ忘れ2件。

保育園給食パンに鋭利なプラスチック片が混入し園児が食べた際に発見された。運よくけががなかったが口を切ったりすれば信用を無くしパンの営業も停止になるほどの事故だった。事故報告対策等で速やかな対応ができたためその保育園では引き続き契約をしてくれた。給食パンを納品する以上今後も細心の注意を払って異物混入を防いでいかねばならない。

・骨折は活動中1件、グループホーム2件、通所、帰宅途中3件、自宅で捻挫1件だった。通所途中の事故はその後の治療が遅れたため怪我がひどくなり長期に休むことになってしまった。朝の通所途中のけがの際は今後は館側で通院をして家庭や寮にひきついでいきたい。

・クッキーの異物関係は多数。8月にミキサーの破片原因の異物混入を企業に報告した。新しいミキサーを購入し安全対策を講じたが1か月ほど業務停止になってしまい、生産増産へ至らなかった。しかし、いまだに同様な異物が混入されるのでミキサーではなく天板のはがれの混入だったのではないか。と思われる。この金属片の混入は継続課題である。また印字ミスが2件あった。

・自動車事故は2件。車を貸し出した後の傷や壊れが多かった。今後は車を貸し出す際の相互の確認が必要。

## 10 広報活動

奥戸福祉館全体の活動を伝えるご家庭向けの通信を年1回発行した。

新人職員（異動されて来た職員含）の紹介、グループ別のページを作成し、新商品・販売会予定、新事業サービスの紹介を行った。また、MVP等で表彰された利用者の発表も活動報告として記事に載せている。

原町かわら版は法人の広報委員会と協力し、編集作業・印刷・発送準備を行い、年4回の発行をした。

パン工房ももちゃんブログ、フェイスブックを定期的に更新し開示した。

## 11 防災安全管理

(1) 訓練時は本田消防署へ自衛消防訓練通知書を届け出のうえ実地した。

実施日	種別	訓練内容
4月24日	防災教育	消火器使用について教育。(利用者・職員)
5月15日	避難訓練	地震発生による避難、及び通報訓練。
7月24日	避難訓練	火災発生による避難訓練。

9月11日	避難訓練	火災発生による避難、及び通報訓練。
1月15日	避難訓練	地震発生による避難訓練。
2月19日	防災教育	震災ビデオ上映、避難時の注意点確認。(利用者・職員)
3月19日	総合避難訓練	火災発生による総合避難訓練。

(2) 葛飾区地域防災無線の定期通信訓練を行った。(毎月第3水曜日)

(3) 火気施設点検を確実に実施した。

(4) 防災用伝言ダイヤルにメッセージを吹き込む訓練を行った。(毎月1日・15日)

(5) 避難経路の見直しを行い、避難時間の短縮に努めた。

→利用者再編成(車椅子使用者を1Fに配置替え)により、避難訓練時間が初回約14分から1月度約7分で、避難を終える事が出来ており、約7分の短縮となっている。

## 12 苦情解決事業

・苦情として6件。近隣住民より利用者の声がうるさいと電話での苦情があった。その利用者のベランダでの活動をやめ理解を求めた。通所途中の苦情3件。職員の対応について2件。それぞれ速やかに対応した。